



このコーナーでは、病院職員と共にこの病院を支えてくださっている皆さんを紹介します。

## 「笑顔で明るくおもてなし」

1階売店勤務  
山崎さん 鈴木さん 渡辺さん

普段、慌ただしく素通りしてしまいそうな1階の片隅に、何気なく立ち止まってみたくなる空間があります。そこは、限られたスペースいっぱい商品が陳列された「売店」で、患者さまやその家族、職員などが入れ替わりで訪れ、店員さんとの明るい会話聞こえてきます。

勤務経験10年以上のベテラン店員3人が交代で勤務され、「また来たい!」と思っていただけるお店づくりを目指し、笑顔の接客を心掛けてくれています。

「ご年配の方や体の不自由な方がお困りの時、何をお望みか察するようにしています」また、「病気のことで気を落とされていると思うので、出来るだけ明るく接しています」と日々の業務での気配りを忘れない3人。もはや「病院の顔」といっても過言ではありません。

これからも「いやしの空間」の提供をよろしく願います。



右から渡辺さん、山崎さん、鈴木さん

## 全国自治体病院学会に参加しました

平成25年10月17,18日両日、国立京都国際会館で全国自治体病院学会が開催されました。今回は、テーマ「患者が中心の、地域とともに歩む自治体病院—医療提供の最適化をめざして—」を掲げ行われ全国から多数の医療関係者が参加しました。

当院からは9名が参加し、院長が分科会シンポジウムにて発表を行い、職員が日頃から取り組んでいる成果をポスターセッションで発表しました。

### ●公立森町病院における院内トリアージの現状と今後の課題「院内トリアージ導入による評価と課題」

看護師 山田真紀

### ●患者のADL評価が看護ケアに役立つ記録用紙の考案

看護師 坂倉範子

### ●当院におけるバージョンアップした検像システムによる有用性について

画像診断科 堀内千歩

### ●回復期リハビリテーション病棟365日導入における検討

リハビリテーション科 廣野文隆

### ●回復期リハビリテーション病棟において連携を促進させるための方策—アンケートによる声掛け内容の実態調査から—

リハビリテーション科  
後藤未来



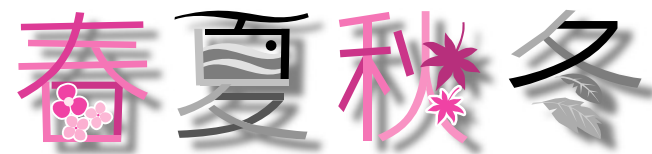
発表する後藤未来

### ●嚙下チームの立ち上げ—臨床経験豊富な言語聴覚士の重要性—

リハビリテーション科 松浦玲奈

### ●社会的交流・欲求の表現に変化が生まれた—症例—

リハビリテーション科 大石晃也



## 基本理念

患者さまの人権を尊重し、心の通った医療を実践することで、地域と共に在る病院を目指します。



シンポジストとして参加する中村院長

全国自治体病院学会が国立京都国際会館で行われました。当院中村院長が、「地域医療・連携・福祉分科会」シンポジウムにて、「公立森町病院の取り組み～地域の必要に応えるために～」を発表しました。

## 公立森町病院

〒437-0214 静岡県周智郡森町草ヶ谷391-1  
TEL.(0538)85-2181/予約専用TEL.(0538)85-0270

ホームページアドレス <http://hospital.town.morimachi.shizuoka.jp/>